

新年のごあいさつ



社団法人 電波産業会
会長 野間口 有

明けましておめでとうございます。

年頭にあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

会員の皆様には、平素から当会の事業に対しまして格段のご支援、ご協力を賜わり厚くお礼申し上げます。

お蔭さまで昨年も当会の主要な業務である通信・放送分野における電波利用システムに関する調査・研究・開発業務、照会相談業務等の普及啓蒙事業、標準規格の策定業務、周波数変更対策業務等のいずれも順調に推進することができました。これもひとえに総務省をはじめ関係団体及び会員の皆様方のご支援、ご協力の賜物であり、あらためて深く感謝する次第でございます。

さて、昨年当会を取りまく環境を顧みますと、通信関係においては、第3世代移動通信システムの加入者が既に6,000万加入を超え、第2世代から第3世代への移行も着実に前進しております。また、無線LAN・無線アクセスの普及も進展しております。放送関係におきましては、地上デジタル放送の「ワンセグ」サービスが昨年4月から開始され、また、デジタル化を円滑に推進するための当会の周波数変更対策業務も、関係機関のご協力を得て順調に遂行することができ、昨年末の12月には全都道府県でデジタル放送が開始されました。更に、我が国の地上デジタル放送方式(ISDB-T)の国際展開に関しましては、昨年、同方式を基礎とした規格の採用が決まったブラジルを始め、アルゼンチン等南米諸国を中心に普及活動を展開する予定です。

電波利用システムに対するニーズは、携帯電話に加えて第4世代移動通信システム、ブロードバンドワイヤレスアクセス、ITS、次世代情報家電等ますます高度化かつ多様化してきております。

こうした社会の要請に応えるための新しい電波利用システムを迅速に研究開発し標準化することや、これに伴う電波の環境問題を調査研究し周知していくことは、ますます重要なことになってきております。

このような状況を踏まえまして、本年も総務大臣指定の「電波有効利用促進セ

ンター」及び「指定周波数変更対策機関」として当会に課せられた事業を積極的に展開して参りたいと存じますので、会員皆様方の一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員の皆様方のますますのご発展とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。

ARIBから のお知らせ

モバイルITフォーラム モバイル属性認証講演会のご案内 「モバイルコマースに向けた電子認証の将来像」

当会が事務局を担当するモバイルITフォーラムが、下記要領で講演会を開催します。

ぜひご参加していただきますよう、ご案内申し上げます。

- 1 日時 : 平成19年2月6日 (火) 14:00~17:40 (13:30開場)、17:45~懇親会
- 2 会場 : 霞が関ビル33階 東海大学校友会館
- 3 主催 : モバイルITフォーラム
独立行政法人情報通信研究機構

4 テーマ : 「モバイルコマースに向けた電子認証の将来像」

5 定員 : 100名(先着順)

6 参加費 : 講演会、懇親会とも無料

7 問合せ先 : 事務局 (ARIB内)

齊藤 saito@arib.or.jp

清水 r-shimizu@arib.or.jp

電話 03-5510-8594



8 参加申込 : ARIBのホームページから

<https://www.arib.or.jp/cgi-bin/semi/usr/general.cgi>

ARIBの動き

第128回技術委員会 (通信・放送合同) が開催される

第128回技術委員会 (通信・放送合同) が開催されましたので、概要をお知らせいたします。

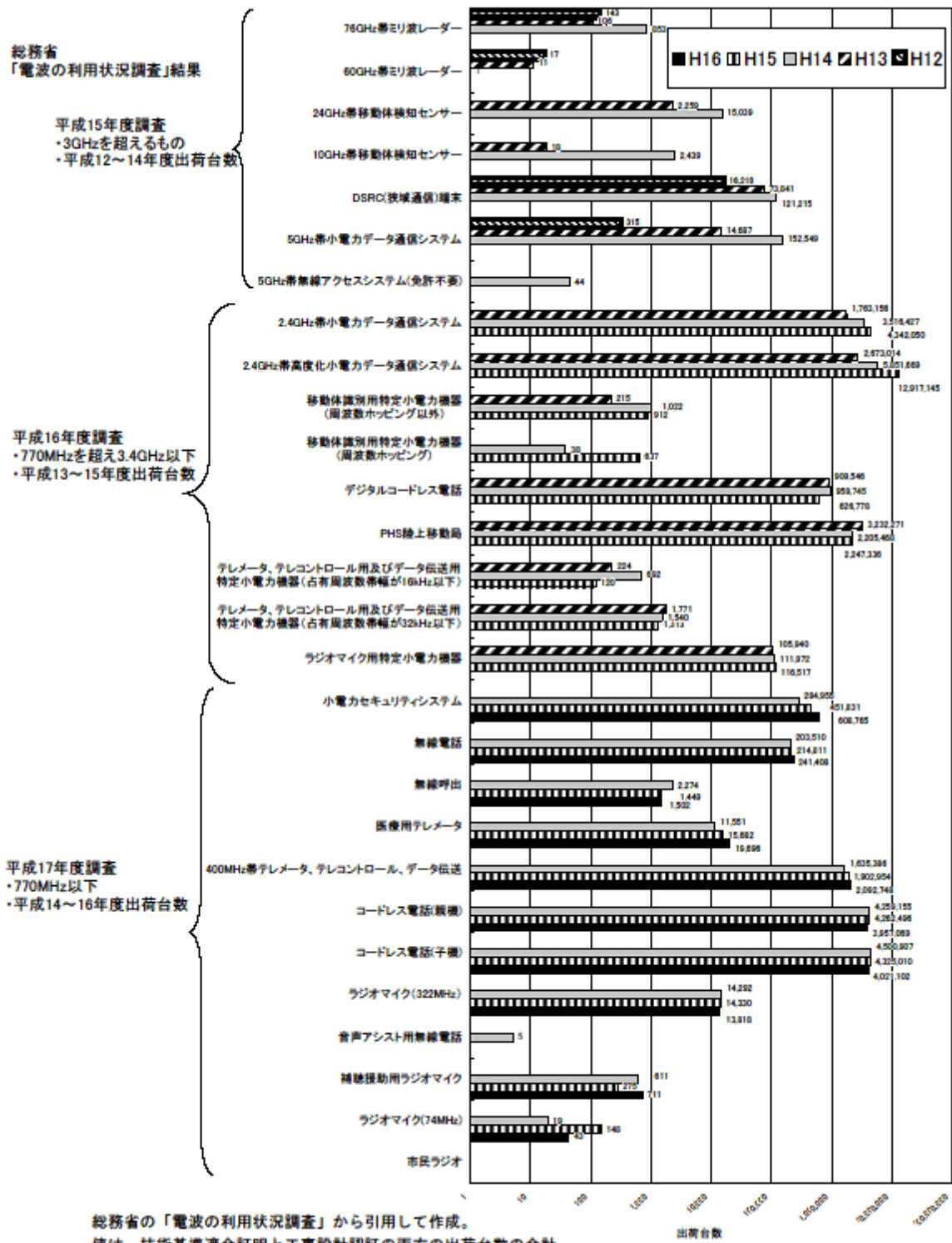
- 1 日時 平成18年12月21日(木)午後4時00分~5時45分
- 2 場所 当会第2会議室
- 3 議事概要

(1) 事務局から、平成19年度税制改正要望の結果について報告がありました。

- (2) 事務局から、地上デジタル放送の中継局に関する技術的条件について報告がありました。
- (3) 事務局から、アナログ周波数変更対策業務（12月）について報告がありました。
- (4) 事務局から、2.5GHz帯を使用する広帯域移動無線アクセスシステムの技術的条件案について報告がありました。
- (5) 事務局から、「高速無線LANの技術的条件」について報告がありました。
- (6) 事務局から、技術試験衛星VIII型（ETS-VIII）及び超高速インターネット衛星（WINDS）による利用実験について報告がありました。
- (7) 事務局から、高機能携帯電話端末の設計・開発効率化調査の研究会について報告がありました。
- (8) 事務局から、当会の最近の活動状況及び情報通信審議会等の進捗状況について説明がありました。

グラフで見る電気
通信・電波産業

無線局免許が不要な電波利用システムの年度別出荷台数



電気通信・放送 行政の動き

ワイヤレスブロードバンド環境の構築にむけた技術的検討の動向

平成17年12月27日に、総務省の「ワイヤレスブロードバンド推進研究会」の最終報告が発表され、「平成18年から情報通信審議会における技術基準の検討及び電波監理審議会における制度整備等を推進する」とされていましたが、その検討結果が出揃いつつあります。総務省ホームページの審議会の情報を中心に、ワイヤレスブロードバンド環境の構築に関連する技術的検討の動向を、ARIBで整理しました。詳細については、総務省のホームページを参照ください。

ワイヤレスブロードバンド環境の構築に向けた技術的検討の動向

分野	技術・システム(例)	総務省 情報通信審議会、電波監理審議会における審議状況 (総務省ホームページの情報からARIBで作成)	参考:民間(ARIB関連)において技術的検討・標準規格案作成等を実施中の組織	
W-PAN	UWB	「電波の有効利用のための技術的条件」 ■ 答申予定事項 ①VHF/UHF帯 ②マイクロ波帯 ③ミリ波帯 ■ 2007年6月頃一部答申予定(「VHF/UHF帯における電波の有効利用のための技術的条件」) ■ 現在電波有効利用方策委員会で検討中	ARIB 「STD T91 UWB(超広帯域)無線システム」を策定済み	
	ミリ波W-PAN		MMACフォーラム ミリ波W-PAN WG	
W-LAN	高速無線LAN (IEEE802.11n)		「高速無線LANの技術的条件」 ・100Mbps以上の伝送速度を実現する5GHz帯高速無線LANの技術的条件について情報通信審議会が答申(2005/9/27) ・敷設規制等改正の省令案等について電波監理審議会が答申(2005/7/12)	MMAC 802.11 WG
W-MAN	広帯域移動無線アクセス ・IEEE802.16系 ・IEEE802.20系 ・次世代PHS等		「2.5GHz帯を使用する広帯域移動無線アクセスシステムの技術的条件」 ・EWAシステム(20MHzシステム、FWAシステムを除く)について、ガードバンド幅、技術方式などの技術的条件を情報通信審議会が答申(2005/12/21)	PHS MoUグループ ARIB 高度無線通信研究会 BWA部会
W-WAN	高度化3G移動通信システム 第4世代移動通信システム		「1.5GHz帯の周波数有効利用のための技術的条件」 ・以下の技術的条件を情報通信審議会が答申(2006/12/21) ①1.5GHz帯におけるIMT-2000(FDD方式) ②2GHz帯におけるIMT-2000(TDD方式) ③3G周波数再生エントランス回線	IMT-2000部会 IMT-Advanced部会
ITS	次世代ITS: ・ミリ波レーダ(78-81GHz帯) ・車車間通信(VHF/UHF) ・路車間通信(5.8GHz帯)		ITS情報通信システム推進会議	

編集後記

新年あけましておめでとうございます。今年もARIBニュースをよろしくお願
いいたします。

昨年は、ARIBニュース編集者にとって大きな出来事として、「パリからの欧
州電波産業情報配信の停止」がありました。編集後記が記載された号の率
の上昇」も目立ちました。統計を取ってみる
と、2004年53%、2005年67%、2006年は82%です。2006年後半に限ると92%と
なります。編集後記を苦にしない編集者が多くなったようです。編集を担当す
る企画国際部に、「ARIBニュースは編集後記しか読まれないんだか
ら。。。という言い伝えがあり、SUM氏、ECHO氏が「編集後記書かなきゃ
だめだよ」と他の編集者に迫っていたのも昔のこととなりました。

(La Boheme)